

JAきたみらい

# あけびま サカタ

2017

vol.169 **2**



## はいっポーズ!

《留辺蘂地区・花園》  
藤田紗苗さんと珠里ちゃん

(紹介は2ページです)

**特集** 食べよう  
和食の朝ご飯!



## 冬まつりで 地元食材をアピール

### 季節の薫り



冬晴れとなった2月4日、青年部、女性部、フレミズの三組織は市内で開催された北見冬まつりにて手作りスープとパンを無料配布しました。

当日は調理班と配布班に分かれ、21人が参加しました。来場者へ地元食材の良さをアピールすることが目的で、スープには地元の玉葱、馬鈴しょ、牛乳をふんだんに使用。用意した1000人分のスープとパンは2時間半ほどで配り終え、盛況のうちに終了しました。

(高田 陽介)



来場者へ手作りスープとパンを配布する三組織のみなさん。右下写真は配布した手作りスープとパン。

## もくじ CONTENTS

### 特集

食べよう  
和食の朝ごはん! ..... 4

○季節の薫り..... 2

○表紙紹介..... 2  
「元気でキュートな女の子」

○地域だより..... 6

○ほのぼのの広場..... 8  
・きたみらいのホープさん  
・なかよし夫婦  
・ブリティーウーマン  
・大きくなったら

○JAからのお知らせ..... 10

○おひさまサラダクッキング..... 22  
「温野菜サラダ・ピーナツソース添え」  
「エビとマッシュルームのアヒージョ」

## 表紙紹介

### 元気でキュートな女の子

寒さが厳しい1月31日、留辺薬地区花園の藤田家を訪ねると、人懐っこい笑顔の珠里ちゃんが出迎えてくれました。珠里ちゃんは昨年の11月頃から歩き始め、家のなかで遊ぶことが多いです。音楽に合わせてダンスをするのが好きで、先日家族で沖縄旅行に行つてからは、沖縄民謡に合わせて踊るようになりました。取材中もお母さんが沖縄民謡を流すとダンスをしてくれ、腰をふりふり動かしながら踊っている姿が印象的でした。また、最近少しずつ言葉も覚え始め、家族でご飯を食べていると「おいちゅ」と聞いてくるようになりました。そんな珠里ちゃんにお父さんとお母さんは、「健康で優しく育つてほしい」と話しました。

(菊池 光祐)



【ご家族紹介】  
前列右から～お父さんの藤田稔彦さん(32)、珠里ちゃん(1歳4ヶ月)、お母さんの紗苗さん(31)  
後列左から～おじいちゃんの藤田敏秋さん(65)、ひいおばあちゃんの悦子さん(91)、おばあちゃんの由美子さん(59)  
作付内容：秋小麦、白花豆、大福、牧草など約30%

# 特集 食べよう 和食の朝ご飯!

## ちりめん雑炊

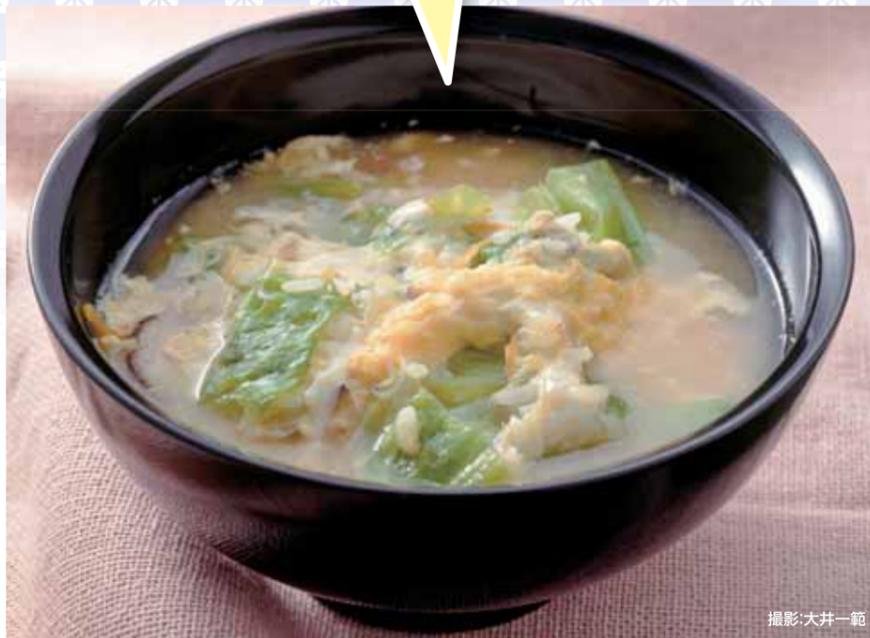
■カロリー：260kcal ■調理時間：20分

### 材料 (2人分)

ご飯……………150g  
 レタス……………3~4枚  
 ニンジン……………30g  
 シイタケ……………2個  
 ちりめんじゃこ……………20g  
 だし……………カップ2・1/2  
 酒……………大さじ1  
 しょうゆ……………小さじ1  
 塩……………少々  
 卵……………2個  
 しょうが汁……………小さじ1/2

### 作り方

- (1) ご飯はざるに入れて水で洗い、水気を切ります。
- (2) レタスはざく切り、ニンジンは千切り、シイタケは石突きを取って薄切りにします。
- (3) だしを煮立て、(2)の野菜と、ちりめんじゃこを加えます。ひと煮立ちしたら(1)のご飯とAを加えます。
- (4) 卵を割りほぐし、(3)が煮立ったら回し入れます。しょうが汁を加えて火を止めます。



撮影:大井一範

### 目覚めたばかりの胃に優しい朝ご飯

前日に食べ過ぎたり、お酒の日が続いたときにお薦めです。具はお好みでいろいろアレンジできますが、レタスは歯触りが食感のアクセントになりますから、ぜひ加えて。ご飯は洗ってから使うと粘りが出ず、サラリと仕上がります。

一日の始まりは朝食をしっかりとることから。栄養バランスに優れた和食の朝ご飯で、元気いっばいに過ごしましょう!  
 レシピ提供: ベターホームのお料理教室

## サケの焼き漬け

■カロリー：177 kcal ■調理時間：20分

### いつもの焼き魚をひと味変えて

焼き魚にほどよい酸味を利かせた汁が染み込み、魚がさっぱりと食べられます。すぐに食べてももちろんおいしいですが、前日に作っておくと味がよくなり、朝作る時間のない人にもお薦めです。

### 材料 (2人分)

生サケ……………2切れ(200g)  
 塩……………小さじ1/4  
 マイタケ……………1パック(100g)  
 シシトウ……………12本  
 砂糖・しょうゆ……………各大さじ1  
 酢……………大さじ3  
 酒……………大さじ2

### 作り方

- (1) サケは塩を振って5分置きます。
- (2) マイタケは大きめにほぐします。シシトウは切り込みを入れます。
- (3) 器にAを合わせます。
- (4) (1)のサケの水気を拭き、グリルで両面を焼いて火を通してから(3)に漬けます。次に(2)の野菜もグリルで焼き、(3)に漬けます。途中上下を返しながらか10分以上置きます。



撮影:大井一範

## アサリの豆乳みそ汁

■カロリー：59kcal ■調理時間：10分

### 体にいい豆乳をみそ汁に。意外にはまる味です

みそ汁に豆乳!?と思うかもしれませんが、豆乳はみそと相性が良く、加えると味がまるやかになります。さらに豆乳のこくとアサリのうま味が加わって、はまる味です。豆乳は、調整・無調整どちらでも結構です。

### 材料 (2人分)

アサリ(殻付き・砂抜き)……………120g  
 水……………カップ1・1/4  
 酒……………大さじ1  
 みそ……………大さじ1  
 豆乳……………カップ1/2  
 万能ネギ……………2本

### 作り方

- (1) アサリはよく洗います。万能ネギは長さ2cmに切ります。
- (2) 鍋に水、酒、(1)のアサリを入れて火にかけます。アサリの口が開いたらみそを溶き入れ、豆乳を加えます。沸騰直前に火を止めて、(1)の万能ネギを加えます。



撮影:対馬一次

## サヤエンドウの卵とじ

■カロリー：64kcal ■調理時間：10分

### 彩りが良く、朝から栄養もしっかり取れます

朝の定番の卵料理にサヤエンドウとしらすを加えて、うま味と栄養をプラス。火の通りやすい食材でサッと簡単に作れるので、もう1品欲しいときや、お弁当のおかずにもピッタリです。卵は、蒸らす間の余熱を考慮して、加熱し過ぎないように注意しましょう。

### 材料 (2人分)

サヤエンドウ……………40g  
 しらす……………20g  
 卵……………1個  
 水……………大さじ2  
 酒……………大さじ1/2  
 みりん……………小さじ1  
 塩……………少々

### 作り方

- (1) サヤエンドウは筋を取り、斜めに3~4つに切ります。卵は割りほぐします。
- (2) 鍋にAを合わせて火にかけ、沸騰したら(1)のサヤエンドウとしらすを加えます。再び沸騰したら弱火にして、(1)の卵を全体に回し入れてふたをします。1分ほど煮て、卵が半熟のうちに火を止めて、少し蒸らします。



撮影:大井一範

女性部留辺薬支部(茂住真澄支部長)は1月10日、塩別つるつる温泉で冬期研修会を行いました。

当日は中垣昂子さんを講師とし、14人がお茶の淹れ方について学びました。茶器の名前や茶葉について教えてもらい、普段と違う作法に苦労しつつも、部員からは「知らなかった!」「勉強になった!」との声が挙がっていました。

同支部では毎年この時期に研修会を行っており、茂住支部長は「お茶の淹れ方で味が変化するということがよく分かった。楽しく勉強ができ、とても良い研修になった」と話してくれました。懇親会では、ビンゴゲームを行い、部員同士で交流するなど有意義な1日となりました。

(菊池 光祐)



▲作法に倣い、お茶を淹れる部員のみなさん

**西地域** 留辺薬 **お茶の淹れ方を学ぶ**  
～女性部が研修会～



▲播種したトマトに水やりを行う柳瀬昌弘さん

**東地域** 上常呂 **トマト播種作業**  
～ほぼ平年並みの開始～

上常呂地区で1月18日、特産のトマトの播種作業が行われました。

同地区で約30畝を作付けする柳瀬昌弘さんのビニールハウスでは、「ハウス桃太郎」と「桃太郎はるか」の2種類の播種を行いました。苗にすると約9千本あたり、成長した苗は3月上旬に定植する予定です。

同地区では今年度4戸が計105畝を作付けする計画で、地元消費者からは「肉厚で甘みが強く美味しい」と人気を得ています。

今年の播種時期はほぼ平年並みで、収穫は5月中旬から始まり、7月末まで続く見込みです。

(梅澤 大)



**地 域 だ よ り**



当JA技術開発グループは2月3日、たまねぎ培土・育苗講習会をJAセンター事務所で行いました。午前・午後の部に生産者延べ80人が参加し、玉葱成型ポットの育苗培土を使用した育苗管理の作業手順などについて確認しました。

講師は、片倉コープアグリ株式会社の渡邊靖之氏、北海道みのる販売株式会社の森敏栄氏。それぞれ培土の特徴や使用方法、育苗のポイントなどを説明。また、OATアグリオ株式会社の藤巻秀幸氏から育苗中のリン酸資材の灌注に関する話がありました。

参加者からは灌水方法などについて質問が出され、活発な質疑応答が行われました。

(高田 陽介)

**東地域** 北見・上常呂・端野 **播種作業の前に作業手順を確認**  
～たまねぎ培土・育苗講習会～



▲講師の説明に耳を傾ける参加者のみなさん

**南地域** 訓子府・置戸 **お互いの仲を深めていく**  
～青年部 訓子府、置戸支部～



▲ハイタッチを交わす青年部員達

青年部訓子府支部(藤森秀志支部長)と置戸支部(片桐敏史支部長)は1月11日に北見市内にて交流会を行い、訓子府支部24人、置戸支部13人の合計37人が参加しました。例年、支部間交流ではお互いの支部活動や営農について意見交換を行っていましたが、昨年度よりボウリングを実施し、交流を深めています。

ボウリングは、4人1チームとなりチーム戦でスコアを競い合い、各レーンではストライクやスペアを取るためにハイタッチを交わしていました。

交流会後の懇親会で、片桐支部長は「毎年、交流を重ねるたびに仲が深まっていると感じている。今後も、お互いに青年部活動を積極的におこなっていきたい」と話しました。

(神田 貴章)

きたみらいの  
**ホープさん**



**経営を  
安定させたい**

端野地区・一区  
ゆういち  
**神田 祐一さん(28歳)**

- 趣味は？  
ドライブ
- 好きな食べ物は？  
お寿司。特に光り物が好きですね。
- 理想の女性像は？  
元気で良く笑う人。
- 好きな芸能人は？  
昔から宮崎あおいが好きです。
- 農業で学び実感したことは？  
自然相手に仕事をする楽しさ、時に厳しさを感じています。
- 今後の抱負は？  
やっと仕事に慣れてきたので、経営を安定させて、効率よく農業で稼いでいきたいと思っています。  
(高田 陽介)

祐一さんは畑野複合経営の美佐子さんの長男で就農して4年目になります。



**ながよし夫婦**

**出合いのきっかけは  
農作業実習**

置戸地区・幸岡  
**有馬 慎吾さん(30歳)**  
**芳 枝さん(28歳)**

**Q出合いのきっかけは？**

芳枝さん：置戸には研修生としてやってきました。有馬家で農作業実習を行いました。慎吾さんのつなぎ姿がとても格好良く見えて、意識するようになりました。

慎吾さん：女の子が実習にくるとということで僕も少し身なりに気をつけていたと思います(笑)その後、青年団でも一緒に活動して付き合うようになりました。

**Q結婚に至るまで**

慎吾さん：付き合ってから一年でプロポーズし、平成26年12月に結婚しました。

芳枝さん：まさかプロポーズされるとは思っていなくて驚いて泣いてしまいました！

**Q共通の趣味は？**

慎吾さん：二人とも食べるのが好きで、一緒に美味しいもの食べに行きます。

芳枝さん：これからは家族でキャンプやスキーなどにいきたいです。

**Qお互いへの感謝の言葉**

芳枝さん：いつも息子といっぱい遊んでくれてありがとう。

慎吾さん：わがままな行動をしても許してくれてありがとう。すべてに感謝です。

写真はすくすく成長中の長男の清登さんと一緒に撮影しました。  
(石井 睦美)

**プリティ  
ウーマン**



**これからも  
積極的に参加！**  
相内地区・美園  
みか  
**水野 美香さん(39歳)**

今回は平成28年度フレッシュミズ 副会長の水野さんにご登場いただきました。  
(丸山 恵理)

**◆出身地と前職、ご自身の性格は？**

生まれも育ちも北見市です。結婚前は市内で歯科助手として4年間働いていました。性格は、人見知りですが、大人数が集まってワイワイするのが好きです。

**◆結婚・家族のことについて教えてください！**

23歳で結婚し、15年経ちました。子どもは2人で、15歳の男の子と11歳の女の子がいます。息子が受験生なので、家族で出かけることは減りましたが、たまに外食に行ったりします(^\_^)

**◆趣味はなんですか？**

もの作りをするのが好きで、冬の間はステンドグラスの教室に通っています。また最近ではセルフネイルにも挑戦しています。

**◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は？**

フレッシュミズの活動は、一人では出来ないこともみんなとならでできることが多く、楽しいことがいっぱいあります。なかでも私は料理や物作りが好きです。

私自身、2月で役員は終わりますが、これからも一会員として、いろいろな活動に積極的に参加していきたいです！

**大きくなったら**

**YouTuberになりたい！(日彩くん)**

YouTuberのヒカキンみたいにゲームの解説とかをする人になりたいです！

**エルサになりたい！(萌彩ちゃん)**

毎日きれいなドレスを着たいので、エルサ(ディズニー作品「アナと雪の女王」より)になりたいです！

日彩くんと萌彩ちゃんは坂下祐太さん、晴香さんの長男・長女です。日彩くんはゲームのマイクラフトの解説を見るのが大好きで、取材時にはおもちゃのブロックでマイクラフトを再現した作品を見せてくれました。萌彩ちゃんは毎日スカートを履いて幼稚園に行きたいほどおしゃれが好きな女の子です。  
(丸山 恵理)

留辺蘂地区・旭

ひいろ  
**坂下 日彩くん(6歳)**  
もあ  
**萌彩ちゃん(4歳)**



# ここだけは知っておきたい『農協改革』

～クミカン制度は維持されました～

平成28年11月11日に、政府の「規制改革推進会議 農業ワーキング・グループ（以下、WG）」から「農協改革」への意見が発表され、大きく報道されました。

「農協改革」を巡る一連の動きについて、組合員の皆さんに関係の深い「クミカン制度」を中心に整理しましたので、ご覧ください。



生徒

テレビや新聞で連日、「農協改革」の報道がされていたけど、2年前にも同じような議論を受けてJAは自己改革を実践中だよ。民間団体のJAにここまで改革を押し付けて来る、規制改革推進会議の農業WGってどんな組織で、ねらいはどこにあるんだろう？

規制改革推進会議は総理大臣のアドバイザー的な機関で、議論した内容を総理大臣に意見する組織よ。農業WGは、「農業の成長産業化」を目的に農業関係の規制をテーマに話し合いをしているわ。背景には、JAから信用・共済・購買などを分離させてシェア拡大をねらう「グローバル企業」と、「在日米国商工会議所」のそれぞれの思惑があるのよ。



先生



農林中金と全農が株式会社になったら、買収して日本の市場に参入しよう！  
JA解体への第一歩として、JAの信用事業は農林中金に任せるべきだ！



グローバル企業

規制改革のねらい

JA

営農指導

販売

生産資材

生活

信用

共済

専門農協へ

分離 株式会社へ

分離 株式会社へ



生徒

ねらいはJAを解体して銀行や大企業、外国企業の参入を促すことにあつたんだね。農業の成長産業化と言うけど、利用者の組合員や地域の人たちが置き去りになっていて、誰のための改革なんだろうね。



生徒

11日の提言内容は、全農の生産資材事業に関する提言が多かったけど、「信用事業を営むJAの半減」、「組合員勘定（クミカン）廃止」とか唐突だったよね。

平成26年6月に政府が決めた「規制制度改革実施計画」でも、信用事業の譲渡は、JAの意志で決めてって言うていたし、クミカンは金融商品の1つに過ぎないのね。



生産者

クミカンは道内105JAで農家戸数の約70%、3万人以上の利用者がいるんだ。

1年間の農業収入と支出、生活費を見込んだ営農計画を立てて、必要なお金を借りながら収穫後に農業収入で返済していく仕組みだよ。組合員とJAが営農計画と一緒に作成することで、JAも様々な事業等を通じて支援してくれるんだよ。

記帳や経営分析もできるし、税務申告にも役立つから銀行の当座預金を使うよりも便利なんだ。規制改革推進会議は、どうしてクミカンを廃止しようとしたんだろうね。

結果的には一部の声だけを反映した一方的な改革の押し付けだったし、JAグループ北海道として、組織を挙げて強力な要請活動を行って「信用事業を営むJAの半減」、「クミカン廃止」は最終的に削除されたから、これからはクミカンを使えるよ。

そもそも改革は自ら行うものだし、批判されたクミカンについても使い方次第なんだよね。現場の意見を取り入れてより良い仕組みに見直して行くのが大事だよ。



先生

私たちJAグループ北海道は、平成26年に策定した「改革プラン」に基づいて、北海道農業が持続可能な産業となること、豊かな魅力ある農村を目指して5年間の自己改革に取り組んでいます。

また、自己改革の実践を加速するため、平成27年11月に開催した「JA北海道大会」で『農業所得20%増大』、『新規担い手の倍増』、『食と農でつながるサポーター550万人づくり』などを決議しました。

自己改革の実践について自信を持って主張するためにも、組合員・JA・連合会・中央会が一体となって着実に実践して参りましょう。

## 改革プランに基づく自己改革期間とJA北海道大会の期間対応

平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度

改革プラン (指針策定) ..... 改革プランに基づく自己改革期間 ..... 目標年度

今回JA大会 (決議) ..... 今回大会の実践期間 ..... 目標年度

次回JA大会 (目標見直し) ..... 次回大会の実践期間

平成28年12月19日 JA北海道中央会作成

# INFORMATION

安定的な生産、供給量の確保は、販売力の強化につながり、取りも直さず所得向上に大きくつながっていくと思います。

## 物流コスト低減と買取販売による年内精算

所得向上に向けて非常に重要なのは、物流コストをどうやって抑えるか。これが1点目。

フェリーの南下便で関東方面などの大きなマーケットに物流をしますが、帰りの北上便が中々埋まらないということが、物流コストを押し上げてしまう一つの要因だと思います。

物流面は、やはりホクレンやJAの果たす役割が非常に大きい。物流業者との連携を強めていくことで、物流効率を上げて、下がったコストを農家所得の向上に振り向ける。

物を売るだけではなく、運ぶコストの見直し、あるいは効率化、同時にその専門性について、民間を含めた物流との連携が非常に重要だと思います。

2点目は、農協の委託販売ではなく、買い取りをするという機能です。

当然、農協で品質や等級の基準を決めなければなりません。販売先は十分あると思います。今すぐに全部とは言いませんが、一部スタートしていくことが、所得向上に繋がる方策ではないか。今から始めて5年後程度を一つのタイムテーブルとして検討に入るべきではないかと思っています。

## 最後に一言

業務用、加工用農作物の作付面積を増やす、あるいは安定供給化をお願いしたい。コンテナを当社もたくさん持っており、取りに行っても構いません。それで、段ボール梱包が不要となりますので、そういう取り組みを是非お願いしたい。

買取は、年内精算に繋がり、農家に対しての資金繰り、ファイナンスの話にもなり、本当の意味での信用事業となるのではないかと思います。

所得向上に向けたさまざまな改革は、組合員が農協組織を構成している訳ですから、今後、どんな組織に方向づけていくか、その中で、自由度と縛りをもう一度見直すことが必要ではないかと思っています。



「協同の力で実現する農業所得20%増大に向けて」と題したパネルディスカッションにおいて、パネリストの皆さんから頂いたご提言をシリーズでご紹介します。  
第1回は、丸谷智保氏の提言を紹介いたします。



丸谷 智保 氏  
株式会社セコマ代表取締役社長

【連載】JA北海道大会実践フォーラム パネルディスカッション  
**テーマ「協同の力で実現する農業所得20%増大に向けて」①**  
株式会社セコマ代表取締役社長 丸谷 智保 氏

## 組合員との関係性強化

販売力とは供給力をいかにつけるかと言う事とイコールだと思います。

例えば、タマネギ買取の年間契約を、あるJAと結ぶとして、どうしても作付面積が足りない時、販売力を高めるためには、組合員の総意で、作付面積をどう確保するかが、一つの大きな課題だと思います。

使う側にとってみると、原材料の市場価格の変動が、一番大きな問題であり、安定した調達に私どもの商売にとって非常に重要となっています。

営農指導、あるいは販売力を強化するためには、今まで以上に組合員と農協の関係をしっかり構築して、販売事業に基づく生産をしてもらうというような関係性を強化すべきではないかと思っています。

価格の安定性も非常に重要ですが、数量の安定確保も非常に大きな課題です。

農協と組合員との関係を、今一度見直し、どこまで農協の指導に従うべきか、どこまで一括して購入した資材を使うか。そこを強化した、より一体化した取り組みをしていくことが販売力を強め、供給力を強めていくことに繋がります。

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを覗いてください。

## JAグループ通信

## JA北海道中央会



HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャル！」(11月3日)を通して、農業の魅力を一月中発信し続けました。  
寄せられたメッセージは4,566件。内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、のべ400名が来場と、大盛況。  
スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポート15550万人づくりへの貴重な一日となりました。



## JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する株式会社アイティオフィス・スティーブ・鈴木代表に「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名譽教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探求する姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。



## ホクレン



全道のホクレンSSで平成28年7月～9月に展開した「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシーズプロジェクト」の一環。道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただけます。



## JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご利用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

## JA北海道厚生連



平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜「土曜ドック」を実施。(男性対象・各種オプション検査可能) 随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。

(0116) 633-7171

【札幌】毎月第2土曜に「脾臓・胆のうドック」を実施中。

(011) 251-5713

【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。

(0115) 524-4161

# INFORMATION

【連載】JA北海道大会実践フォーラム  
パネルディスカッション  
テーマ  
「道民と食と農でつながる  
サポーター550万人づくりに向けて」①

「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりに向けて」と題したパネルディスカッションの内容を3回シリーズでご紹介します。



宮入 隆氏  
北海道大学 教授

宮入です。550万人サポーターづくりは、チャレンジングなテーマですが、既に色んな取組みがあります。それをどう見せるか、どこから手を付けるか、今日はそのヒントを見出したいと思います。早速ですが、今日ご参加頂くパネリストの皆さんに自己紹介と今日の意気込みをお話し頂きます。

## 河野 真也氏

タレント

オクラホマというコンビで活動している河野真也と申します。僕はあぐり王国北海道という番組の取材経験から得た、一般の方よりは農家さんに近い目線、



また1歳の息子がいる父親の目線でもお話ししたいと思えます。大阪出身の僕は、北海道が素晴らしいということに地元の人が気付いていないのでは」という意味で「道産子は道産子であること」にあらわに「かいてる」と言い続けています。そんな道外から見た北海道という点にも意見したいと思えます。今日は頑張りますのでよろしくお願ひします。

## 高橋 さやか氏

食育フリーマガジン mogmag 編集長



「mogmag」というフリーマガジンを発行している高橋と申します。この冊子はレシピを中心に生産者の情報や、旬の食材、子どもと食に関するお悩み等を載せた、ママ向けの食育情報誌です。本日は消費者の一人として、また3歳の娘のママとしての目線で色々お話しできればと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

## 森川 純氏

北海道新聞社 論説委員



北海道新聞の森川と言います。まず私の中で、もやもやしているTPPの話をもっと話したいと思えます。TPPの問題に全国の農業団体が反対運動を繰り広げた後、強引な農協改革を迫られました。政府の姿

宮入教授 それでは、きたみらいの事例を参考にしながら、各々思ったことをお聞かせ頂きたいと思えます。

河野氏 事例の内容やホームページを見て、こんなに色んなことをやっているのかと驚きました。同時に、今まで知らなかったなと思ったんですね。ちなみに高橋常務、ホームページとフェイスブック以外には何かやられているのですか。



高橋常務 あとは先程ご紹介させて頂いたコミュニティ誌を、年に3回発行しております。

河野氏 なるほど。サポーターになってもうつた550万人の道民に向けてやるのはもちろんですが、その上で僕がいいなと思うのは、道外のファンをつくる取組みです。僕は先程「道産子は道産子であること」にあらわに「かいてる」と言いましたが、僕は北海道に来て野菜の美味しさに驚きました。普通に売られている野菜が美味しいのですが、北海道の人にとっては美味しくて安心安全なものが当たり前です。当たり前とされているものの良さに気付かせることは中々難しいと思います。だから道外のファンを増やして、そこが盛り上がることに、北海道の人にも、北海道ってすごいね、自分達も応援しな

きやと思わせるような取組みも必要だと思いました。

宮入教授 たくさん取り組んでおられるけれども知られていないという点は、これは今日のディスカッションの中でも一番求められている課題だと思えます。それでは続いて、高橋さんお願ひします。

高橋 さやか氏 今は何でもスーパーで手に入る時代ですので、生の体験で食への意識が変わると思えます。また、私も先程の事例発表で初めて、色々な取組みを知ったので、情報が届かない現状を感じました。

例えば、50代の会社員と30代のママとでは見るものや求める情報も違うので、伝える相手や起こして欲しい行動に応じて情報発信を工夫する必要があると思えます。



宮入教授 実際、フリーマガジンで情報発信をする高橋さんの立場で、具体的な情報の流し方に関するアイデアがあれば教えて頂ければと思うのですが。

高橋 さやか氏 例えば会社員なら新聞がメインだと思いますが、子育て中のママならやっぱり児童会館での口コミや、SNSですよね。相手によって伝え方を工夫していくのは大事だと思えます。

勢は問題ですが、その後、中央会が反対の看板を下ろしたことに私は、はしこを外された思いです。とは言え政府への意見は別としても、消費者を意識して農産物をつくり、売ることは大事であり、それが北海道の産業の発展に繋がり、地域を支えると思えます。その意味で建設的な議論に加わりたく思えます。

## 高橋 優氏

JAきたみらい 常務理事 (事例発表者)



JAきたみらいの高橋でございます。本日のパネリストの皆様は、さまざまなお立場の方々ですので、JAGグループ内から見えない、外側からの発想に基づく貴重なご意見があると思えます。私も、ご意見を吸収してそれを行動に移したいという思いで参加させて頂きました。よろしくお願ひいたします。

## 高橋 和則氏

JA北海道中央会 総合企画部長



中央会総合企画部の高橋と申します。私どもの部署は大会決議の実践に向けた組織の事務局、サポーターづくりに繋がるテレビ番組「あぐり王国」の制作、さらにスマホアプリ「JA2MP」の開発も担当しております。本日はよろしくお願ひいたします。

宮入教授 地域には多様な年齢層、考え方がいらっしゃると思います。高橋常務が実際現場で取り組まれている伝え方の工夫はございますか。



高橋常務 誰に伝えるかという点がぼやけていることは多いです。これからは伝える相手が誰か、そして伝え方の工夫も必要と感じました。情報はインターネットや広報誌でも伝えていますが、直接人が出向き伝える活動もしています。例えば鹿児島は、豆を多く食べる地域であり、生産組織の皆さんによる現地での販売も行っております。これも行って初めて分かったことなので、人が出向く活動は増やしたいと思えます。



# INFORMATION



1



2



3



4

- ①農業機械歴史館でトラクター等の展示物を見学
- ②九州沖縄農業研究センターで有機輪作体系の説明を受ける
- ③JAあきた農産物直売所を視察
- ④鹿児島県くろず情報館

## 九州の農業を学ぶ

### 青年部九州農業視察研修

JAきたみらい青性部は12月13日から16日までの3泊4日で九州農業視察研修を行い、部員9人が参加しました。同研修は農業パートナー・後継者研修の一環で海外及び国内農業について見聞を広めることを目的としています。

福岡県では、(株)福岡九州クボタの農業機械歴史館にて展示されているトラクター等を見学。ここでは、農業機械の開発における昭和初期の時代からの発展過程を学びました。

長崎県では、諫早湾干拓営農支援センターで干拓地の灌漑用水を活用した農産物の生産について現地説明を受け、厳しい営農条件下にあっても前向きな取り組みに部員たちは感心していました。

熊本県では九州沖縄農業研究センターで農業の6次産業化における営農や有機質資材の肥効を活用した有機畑輪作体系について学びました。

今回の視察の団長を務めた同青年部の引地隆之部長は「九州の農業は北海道と違い1年を通して土地を利用することができ、輪作体系も違ったものとなっていた。他地域の営農形態は様々であり、それを学んで自分たちの営農につなげたい」と研修を振り返りました。(神田 貴章)

### 研修を終えて

実施に当たり、JAきたみらいを初め、関係機関皆様の多大なるご支援により、気候・風土・文化の異なる九州農業を肌で感じる機会を与えて頂いたことに、深く感謝申し上げます。

この研修で共に過ごした仲間を大切に、得た知識や経験を様々な場面でいかし、きたみらい地域の農業振興の発展に寄与できるよう、将来の担い手として日々努力して参ります。

最後に、関係者の方々のご多大なるご協力により、事故・トラブル等一切なく、無事に終えることが出来たことに、心から感謝申し上げます。

JAきたみらい青年部 部長 引地 隆之

## 身だしなみを学ぶ

### 青年部学習会

JAきたみらい青年部は12月21日、JAセンター事務所学習会を行い53人が参加しました。「社会人としての身だしなみ」と題してスーツの着こなし方を学び、部員らはネクタイの結び目にくほみを作る「ディンプル」の練習をしました。

講師の株式会社AOKIの櫻井雅洋氏は「身だしなみとは相手に対してどのような印象を与えるか。相手の



▲身だしなみについて説明する櫻井氏

目線になることが大事」だと説明。同青年部引地隆之部長は「青年部としてはもちろん、社会人としても身だしなみに気をつけていきたい。今後このような場を設けたい」と話しました。

(高田 陽介)



▲ネクタイの結び方を学ぶ青年部員のみなさん



F.W.ライファイゼン (1818~1888)

ドイツの農村信用組合の創始に尽力した。

## 【連載】今こそJA！ その意義と役割

### 第4回 ライファイゼンの農村信用組合

ドイツではイギリスよりも少し遅れて産業革命が起こりました。やがてドイツの農村にも貨幣経済の波が押し寄せ、商人の収奪が横行する中、資金を年率100%という法外な金利で貸し付ける「高利貸し」に頼らざるを得ない状況となり、さらにこれとあわせて凶作が発生するといった悪循環に陥っていました。

こうした惨状を目の当たりにしたライファイゼンは、すでに富裕者の寄付を仰ぎ、慈善組合を作っている人に食糧を与えたり貸付を

行ったりしましたが、すぐに事業は行き詰まってしまいました。ライファイゼンは失敗した原因を考えた結果、人に頼り切るのではなく、何よりも自助の精神が基本になければならないと悟ったのです。こうしてライファイゼンは1862年に初めての農村信用組合を作りました。

この農村信用組合は高利貸しに對抗するための仕組みとして、組合員相互が無責任を負う(他の組合員の負債を連帯保証する)ことで信用力を高めながら、金融業者からまとめて金を借りて、それを組合員同士で低利で融資するものでした。その後、ライファイゼンの農村信用組合は信用事業だけではなく、販売事業や購買事業も行うようになったのです。

こうした信用事業を核とした総合事業の発想は日本の産業組合、現在の農業協同組合のモデルになったといわれています。ライファイゼンが引用したといわれる「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉は今も生き続けているのです。

# INFORMATION

## 各種健診・検診に対する助成のご案内

JAきたみらいでは、組合員の健康増進を図るため下記の助成を行っております。詳しい利用方法につきましては、企画振興グループまでお問い合わせください。

●助成対象範囲：30歳以上の①正組合員②共に農業に従事する家族

●助成内容（上限）

人間ドック	・厚生病院（遠軽・網走）…………… 15,000円 ・上記以外の病院…………… 5,000円
巡回ドック	・JA事務所で行うもの…………… 7,500円
脳ドック	・単独検査（人間ドックと併用しない）のみ…………… 5,000円 【病院指定なし】
各種がん検診	・行政の検診のみ…………… 各1,000円 【胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん】

※受診料が助成金額を下回る場合には受診料が上限となります

※各種助成の利用には領収証の提出が必要です

お問い合わせ先：JAきたみらい企画振興グループ（☎0157-32-8786）



## 行政への感謝を伝える「きたゆきもち」の鏡餅贈呈

JAきたみらいもち米振興会は12月21日、北見市、置戸町、訓子府町の1市2町を訪れ、地場産もち米で作った鏡餅を贈呈しました。

鏡餅は当JAで生産された28年産の「きたゆきもち」を使用し、二段重ねで重量約8kgになります。当日訪れた当JA役員と同振興会役員より、各行政の首長へ手渡されました。

北見市での贈呈では、西川組合長は「常呂川の氾濫などもあったが、米は雨に強く、水田はダムの役割も果たしながら7年連続の豊作となった」と話し、同振興会の沼崎栄治会長は「台風もあったが、関係機関の協力もあり、無事に収穫することができた」と感謝の気持ちを伝えました。鏡餅を受け取った北見市の渡部真一副市長は、「災害復旧には行政として引き続き取り組む。地元のもち米による鏡餅を市民の皆さんにもぜひ見てほしい」と応じました。

今年度は148戸がもち米を作付し、管内作付面積は約731ha、平均収量は10a当たり559kgで総生産量は4,088tを記録、7年連続の豊作となりました。

贈呈した鏡餅は各行政の玄関口に飾られ、鏡開きに振る舞われました。



- 北見市役所にて（左から）沼崎もち米振興会会長、畑中同会副会長、西川組合長、齊藤常務、渡部副市長
- 置戸町役場にて（左から）井上町長、有馬理事、東海林理事、大坪専務
- 訓子府町役場にて（左から）藤森理事、中村理事、菊池町長、島貫もち米振興会副会長、小野理事、大坪専務、南監事

## 農事組合法人瑞穂で落成式

農事組合法人瑞穂（代表理事組合長 大田忠茂）の飼料調整庫兼事務所の完成に伴い、12月19日、組合員と関係団体30名が出席したなかで落成式を開催しました。

この法人は瑞穂地域の畑作物（麦類・甜菜・大豆）と、瑞穂地域全戸のTMRセンターを一体に行う法人として、農地中間管理機構事業を活用したなかで一昨年10月7日に設立され、今回完成した飼料調整庫兼事務所を拠点として、TMRセンター運営とコントラクター運営、さらには畑作物管理などの業務を同法人が行っております。

無事に落成式も終了し、大田組合長からは「地域酪農家の生き残りをかけて、10年後を見据えた持続可能な農業の発展に全力を尽くしたい」と話してくれました。



▲飼料調整庫兼事務所の完成を記念して

### 新型スイフト、スペーシアカスタムZ発売!

新型SWIFT HYBRID RS  
4WD CVT 1,845,720円(税込)～

スペーシア カスタムZターボ  
4WD CVT 1,719,360円(税込)～

新型スイフト HYBRID ML  
4WD CVT 1,779,840円(税込)～

スペーシア カスタムZ  
4WD CVT 1,611,360円(税込)～

第32回 ふれあい 大感謝祭

2/17-18

会場/網走市呼人382番地  
会場問合せ先/☎(0152)48-2111(代)

春の新車フェア 2017年 1月1日～3月31日

TOYOTA × SUZUKI × SUBARU × MITSUBISHI MOTORS

上記4メーカーの新車ご購入でいずれか1つプレゼント!!

- 30,000円相当
- 旅行券3万円分
- セレクトウォークマン
- JCB日経品券
- 折りたたみ自転車
- 血圧計+体組成計
- 防災セット+家庭食+食器/バック
- ハンディクリーナー

軽トラック新車ご購入の方は  
スタッドレスタイヤ4本(ホイール付)プレゼント! 50cc ホクレン エンジンオイルプレゼント!

【お問い合わせ先】 JAきたみらい 燃料自動車グループ 常呂郡訓子府町駒里44番地2 生産資材拠点センター（☎0157-47-2099）

# まちがいがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 1月号クロスワードの当選者

1月号のクロスワードの答えは「デ、ゾ、メ、シ、キ」でした。正解者74名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

( )内は地区名

- ・岡村 愛子さま (温根湯) ・大関 博子さま (温根湯)
- ・林 尚哉さま (相内) ・遠藤 スミ子さま (訓子府)
- ・小坂 正枝さま (訓子府) ・浅川 友子さま (訓子府)
- ・安達 直也さま (置戸) ・遠藤 美智子さま (北見)
- ・藤井 邦子さま (北見) ・寒河江 今日子さま (端野)

以上の方々には、Aコープの商品券(2,000円分)をプレゼントします。

## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「焼肉のたれ」「玉葱の塩だれ」をセットにしてプレゼント致します。

**明** けましておめでとうございます。今年もおひさまサラダ楽しみにしています。知り合いが出るとうれしいものです。今年一年よろしくお祈りします。

(北見地区 遠藤 美智子)

新年明けましておめでとうございます。毎回、地域の情報を中心に作成・発行しています。きたみらい地域でつながりを感じて頂ければうれしいですネ!

**表** 紙の写真をいつも楽しみに見えています。ご家族の幸せな感じが伝わってくる写真ですね。(匿名希望)

毎月、皆さんの幸せな笑顔で表紙を彩らせてもらっています。広報誌を手にとるとほっこり幸せな気持ちになりますね!

**い** つも楽しく読ませてもらってます。今年は天候に恵まれますように!!そして豊作の年になりますように!!

(温根湯地区 岡村 愛子)

いつもご愛読ありがとうございます。今年は災害に負けないよう、一致団結して頑張りましょう!

**新** しい年が明けましたネ。家族全員健康で頑張りたいですネ!今回のクロスワードパズル良いですね。頭の勉強になります。

(北見地区 桑原 幸江)

今年1年すべての人が幸せな年でありますよう、広報編集委員一同願っております。皆様のご意見も広報作りの参考にさせていただきますので、どしどしご意見をお待ちしています!

## VOICE 読者の声

# INFORMATION

## 第12回 理事会報告

1月30日、午前9時30分より第12回定例理事会が開催され、報告事項9件、決議事項16件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告について
- ③平成28年度クミカン精算状況について
- ④平成28年度対策農家の収支実績報告について
- ⑤H28「役員と青年・女性・フレッシュミズとの懇談会」の主要意見等とそのJA対処方針について
- ⑥平成28年度ジャガイモシストセンチュウ対策の取組みについて
- ⑦平成29年度畑作物指標面積の設定について
- ⑧H28年度産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑨山内隆氏の宇都宮賞受賞報告について

### 【決議事項】

- ①出資減口について
- ②規程類の改正について
- ③減損会計による減損額について
- ④車両洗浄施設の工事に係る発注方法について
- ⑤玉ねぎ集出荷貯蔵施設の工事に係る発注方法について
- ⑥期末手当の支給について
- ⑦平成30年度職員採用計画について
- ⑧理事に対する資金の貸付について
- ⑨平成29年度信用供与等の限度額設定及び貸付金利率の最高限度について
- ⑩平成29年度1億円を超える信用の供与等の設定について
- ⑪当組合との利益相反取引に係る取扱いについて (H29クミカン貸越極度)
- ⑫北海道信連からの転貸資金借入について
- ⑬平成29年度監査計画書(案)(内部監査)について
- ⑭H29年度各種奨励対策について
- ⑮平成29年度事業収支計画(案)について
- ⑯冬期地区別懇談会提出資料内容について

## 第11回 理事会報告

12月22日、午前9時30分より第11回定例理事会が開催され、報告事項11件、決議事項9件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①内部監査(コンプライアンス倫理監査、総務企画部門)報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④対策農家の収支見込みと精算対応(予定)について
- ⑤コントラ事業の執り進めについて
- ⑥H28年度小麦生産実績及び27、28年度産の精算について
- ⑦H28年度もち米精算実績及び27、28年度産の精算について
- ⑧H28年度米麦乾燥料金について
- ⑨H28年度てん菜生産実績について
- ⑩H28年度産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑪H27年度産瀬原馬鈴しょの精算について

### 【決議事項】

- ①出資減口について
- ②玉ねぎ加工処理施設導入に係る補助事業の取り進めについて
- ③北海道信連からの転貸資金借入について
- ④平成29年度冬期地区別懇談会の日程(案)について
- ⑤第14回通常総代会の日程(案)について
- ⑥北海道報徳賞(善行賞)受賞候補者の推薦について
- ⑦酪農における人材確保対策について
- ⑧平成29年度事業計画基本方針(案)について
- ⑨H29年度産共計男しやく早出し取扱細則について

## 初せりに雑煮振舞う

北見市の北見地方卸売市場で1月5日、初せりが行われ、威勢の良い掛け声が場内に響きわたりました。初せり後にはJAきたみらいから同市場を運営する(株)マルキタ職員や買い受け人ら約130人に雑煮を振舞いました。

雑煮の食材には当JAで生産された「きたゆきもち」を使用しており、地産地消につなげることが狙い。当JAの役員6人は炭火で餅を手際よく焼き、「きたゆきもち」のおいしさをアピールしました。買い受け人らは「お餅がおいしく、おかわりも頂いた」と好評を得ました。



▲買い受け人らに雑煮を振舞うJA役員

## 第21回オホーツク農業 新技術セミナー

北見農業試験場などが研究開発した新品種や新技術を速やかに公表し、オホーツク地域の多くの方々に活用していただくため、次のとおり『第21回オホーツク農業新技術セミナー』を開催します。

新品種や新技術のほか、地域におけるトピックスも紹介します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

- 日時 平成29年2月21日(火) 午後1時～4時
- 場所 北見市端野町公民館 グリーンホール 北見市端野町二区471番地11 ☎0157-56-2515
- 入場料 無料
- 【お問い合わせ先】 北海道立総合研究機構 北見農業試験場 ☎0157-47-2252

### お詫びと訂正

先月号(168号)のおひさまサラダで、誤りがございましたので次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。P6(誤) 遠藤 葵依さん ⇒(正) 蒼依さん



【材料：3人分】

カボチャ	150g	ピーナツソース	
サツマイモ	150g	ピーナツバター	大さじ1.5
ニンジン	60g	蜂蜜	小さじ1
レンコン	60g	白ワインビネガー	小さじ2
ゴボウ	60g	酢	小さじ2
		塩	小さじ1/2
		みそ	小さじ1/5
		練りからし	少々
		水	適量

温野菜サラダ・ピーナツソース添え

【エネルギー約210kcal(1人分)】

【作り方】

- ①カボチャ・サツマイモ・レンコンは一口大に切る。ニンジン・ゴボウは6～7cmの長さに切る。
- ②レンコンとゴボウは水にさらしてあくを抜く。
- ③温めた蒸し鍋に、じっくり熱するほどに甘くなるカボチャとサツマイモを入れて10分蒸し、ニンジン・レンコン・ゴボウを加えて10～15分ほど蒸す(野菜の大きさにより調整)。
- ④ピーナツソースの材料をよく混ぜ合わせる。ソースの濃度は水を加えながら調整する。
- ⑤皿に蒸した野菜を盛り付け、ソースを添える。

メモ

ピーナツの香りが、甘い野菜のおいしさをアップ。蒸し料理はお鍋一つで素材のうま味を引き出す簡単クッキング。蒸し板があると便利です。蒸した後の鍋の中のお湯には野菜のうま味が詰まっていますので、スープやみそ汁に加えましょう。



【材料：2人分】

エビ	8尾
マッシュルーム	6個
ニンニク	1片
唐辛子	1本
オリーブ油	大さじ4程度
塩	適量
イタリアンパセリ	2本

エビとマッシュルームのアヒージョ

【エネルギー約306kcal(1人分)】

【作り方】

- ①エビは殻と尻を取り、背わたはようじなどで取る。
- ②マッシュルームは食べやすい大きさに切る。ニンニクは芯を取りざく切り、唐辛子は種を取り輪切りにする。
- ③小さめの鍋にオリーブ油・ニンニク・唐辛子を入れ、弱火でじっくりと香りを出し、塩を加える。
- ④③にエビとマッシュルームを加え、鍋を揺すりながら全体に油を絡ませる。
- ⑤エビに火が通ったら器に盛り、イタリアンパセリを添えて熱々(あつあつ)をいただく。

メモ

スペインのバルでおなじみのアヒージョ。ニンニクの香りが漂うオリーブ油で具材を煮る料理です。油の量は、具材が漬かる程度が目安ですので、鍋の大きさにより加減してください。残ったオリーブ油はバゲットなどに付けてどうぞ。

編集後記

- ・寒波が到来する度に除雪で身体の節々が痛くなる日々が続いていますね。簡単にでも準備運動を行い、怪我をしないように心掛けましょう。
- ・特集では和食のレシピを紹介しています。年末年始に一回り大きくなったお腹まわりを引き締めるためにも、栄養バランスの取れた食事を心がけたいと思います。
- ・また、インフルエンザが事務所内でも流行を見せています。私もかかってしまい、39度の熱にうなされました。みなさまにおかれましては体調管理のほか、手洗い、うがい、部屋の温度、湿度に気を付けてお過ごしください。(高田 陽介)

JAきたみらい概要

(平成29年1月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,726人
- ・組合員数(准) 6,226人
- ・組合員戸数(正) 1,062戸
- ・貯金 106,974百万円
- ・貸出金 13,345百万円
- ・出資金 5,116百万円